

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
アートチャイルドケア S E D スクール J R 吹田駅前		2026年 1月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	お子様の発達に合わせて活動内容や遊具や部屋の配置などを、職員間でセッションごとに打ち合わせしている。 開所して8年、限られた空間の中で、ひとりひとりに適切な環境づくりを工夫してきた。大型遊具の撤去、部屋の明るさのコントロール、個別の部屋の使い分け等。 準備の段階で職員間でプログラム内容を共有し、部屋割りを行っています。	・ご利用者様の安全と安心していただける環境づくりはこれからも徹底していきます。 ・お子様の年齢や発達段階に合わせた環境をチームで考え、指導員同士が互いに協力し合っ てプログラムを立案することで、安定した療育を提供します。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	社内研修に加え、社外の研修にも積極的に参加し、日々の支援に繋げている。 事業所アンケートの意見を全員で共有し、改善に向けて取り組んでいる。	・PDCAサイクルを継続することで、業務の改善に繋げていきます。 ・職員間で意見交換をすることで、状況の変化に対応していける体制を整えていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	日々のカンファレンスや記録を通して、お子様の理解を深めている。 職員間は互いの専門性や経験から意見を述べ、参考にし合える風通しの良い関係性が構築されている。 振り返りや話し合いの時間を十分に取って引継ぎが行われており、セッションのも行かせていると感じる。	・年間を通して、研修を重ね療育の質を高めていけるように努力してまいります。 ・日々のカンファレンスや事例検討会などの時間を設けることで、支援の方向性を共有し、お子様を中心とした療育を行っていきたいと考えています。 ・日々変化するお子様の様子や、ご家族や地域の事を把握していけるように情報をできるだけ把握していくことで、必要な支援を必要な場面で提供します。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	セッション後の振り返りや事業所内相談などをご利用いただき、ご家族とともに寄り添える支援を目指している。 利用者にとってよりよい療育計画になるように、園や他事業所との連携は重視している。	・関係機関の連携のご希望の声も増えていることから、通われている幼稚園や保育園、子ども園などへの訪問もご希望に応じて積極的に行っていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	グループ活動時に保護者様同士の交流の場を設けることで、悩みや不安に思っていることが少しでも軽減されるように働きかけている。 保護者の子育ての悩みに寄り添いながら、共に子どもの成長を見守り、考えていくことができるように情報の共有を丁寧に行っている。 今年度より保護者交流の場を設けるなど支援の幅を広げています。	・日頃の振り返り時の保護者との対話の時間を丁寧に積み重ねることで、ご利用者様の不安の軽減に努めます。 ・相談しやすいようにお一人おひとりに合わせた対応を心がけていきます。 ・保護者同士の交流の場を設けることで、子育ての悩みを相談できたり、地域の情報共有に繋がっていただけるように働きかけたいと考えています。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	ご利用者様の安心安全を保つために日々の安全チェックや、定期的に研修することで意識を高めている。 緊急の自体に備え、定期的に研修、訓練、日頃の安全点検を行っている。 訓練や研修が定期的に行われていることで適切な対応につながっているのではないかと思います。	・日々の安全チェック、ヒヤリハットの検証など職員一人一人が、環境への配慮を怠らず利用者様の安全を守っていきます。 ・非常時に対応していけるように、日頃から意識し、定期的な訓練や環境の見直し、研修の時間を設けるなど危機管理意識を高めています。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	45	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		